

京都市産技研 平成29年度当初予算の概要について

1 予算編成の基本方針

京都市産業技術研究所（以下「産技研」）は、複雑化、多様化する企業のニーズにこれまで以上に迅速かつ的確に対応するため、平成26年4月から地方独立行政法人へ移行した。

これにより、大幅な裁量権が産技研に付与され、事前統制から事後評価に変わるとともに、業務運営に必要な経費は、京都市から運営費交付金として交付され、これまでにない弾力的な執行が可能となるなど、具体的な業務運営が産技研の自主性・自律性に委ねられることとなった。

産技研においては、平成29年度予算編成に当たり、京都市が設定した中期目標の達成に向けて策定した中期計画・年度計画を推し進め、利用者の満足度がより高い公的な産業支援機関の実現を目指すため、自己収入の確保と、めりはりのある積極的な予算配分を行う。

2 当初予算内訳

(1) 収入

	平成29年度予算 A	平成28年度予算 B	増△減 A-B
運営費交付金	912,553 千円	926,402 千円	▲13,849 千円
施設整備費補助金	60,000 千円	60,000 千円	0 千円
自己収入	319,558 千円	297,837 千円	21,721 千円
手数料（指導/試験）	24,321 千円	24,321 千円	0 千円
研修受講料	11,547 千円	11,282 千円	265 千円
売払い等（酒母等）	3,583 千円	3,578 千円	5 千円
受託研究等	90,108 千円	86,686 千円	3,422 千円
受託事業等	110,125 千円	105,955 千円	4,170 千円
J K A 補助金	21,600 千円	60,000 千円	▲38,400 千円
基金運用等	23,840 千円	6,015 千円	17,825 千円
剰余金繰入金	34,434 千円	0 千円	34,434 千円
合計	1,292,111 千円	1,284,239 千円	7,872 千円

（退職金は除く）

(2) 支出

	平成29年度予算 A	平成28年度予算 B	増△減 A-B
業務費	923,875 千円	898,174 千円	25,701 千円
技術指導/依頼試験	6,522 千円	6,522 千円	0 千円
研究開発費	140,644 千円	129,387 千円	11,257 千円
知恵産業融合センター	11,703 千円	11,703 千円	0 千円
人材育成	20,471 千円	19,607 千円	864 千円
受託事業	114,535 千円	105,955 千円	8,580 千円
職員人件費	630,000 千円	625,000 千円	5,000 千円
施設整備費（機器整備等）	111,441 千円	148,955 千円	▲37,514 千円
一般管理費	256,795 千円	226,110 千円	30,685 千円
100周年記念事業	0 千円	11,000 千円	▲11,000 千円
合計	1,292,111 千円	1,284,239 千円	7,872 千円

（退職金は除く）

3 当初予算の概要

(1) 中小企業等の下支えとなる技術相談及び試験・分析の充実

ア 技術相談 2,922千円 (平成28年度予算 2,922千円)

相談者に課題解決の糸口を具体的に指導し、その解決を図り、中小企業等の技術の下支えとなる技術相談を充実するため、京都市からのマイナスシーリングを反映せず、平成28年度と同額の予算を確保する。

イ 試験・分析 3,600千円 (平成28年度予算 3,600千円)

産技研の得意技術・固有技術を生かし、試験結果等から導き出された課題解決のための糸口を具体的に指導し、中小企業等の下支えとなる試験・分析を充実するため、京都市からのマイナスシーリングを反映せず、平成28年度と同額の予算を確保する。

(2) 中小企業等の成長支援や下支えのための研究開発の推進

146,644千円 (平成28年度予算 134,887千円)

(知恵産業融合センター 研究開発・新商品開発予算6,000千円を含む。)

ア 研究開発の拡大と計画的実施

中小企業等のニーズや京都市の産業振興施策、市場動向等を的確に把握し、基礎的研究から事業化・製品化につながる研究開発までを計画的に推進するため、重点的研究、共同研究、一般研究及び競争的資金研究等を総合的に拡充することとし、必要な予算を確保する。

※ 重点的研究：政策研究、カルティヴェイション研究及びパイロット研究（知恵産業融合センター枠を含む。）

【平成28・29年度の研究開発予算の比較】

	平成29年度予算 A	平成28年度予算 B	増△減 A-B
重点的研究	19,210千円	30,000千円	▲10,790千円
共同研究	12,640千円	12,243千円	397千円
一般研究	8,120千円	8,120千円	0千円
競争的資金研究	73,500千円	70,080千円	3,420千円
受託研究	4,000千円	4,000千円	0千円
科研費奨励費	0千円	3,100千円	▲3,100千円
松本油脂製薬基金	20,825千円	0千円	20,825千円
その他	8,349千円	7,344千円	1,005千円

イ 重点的研究の推進

中期計画において重点分野に位置付けた「成長が予想される分野」や「中小企業等の下支えとなる分野」において、さらに研究開発を推進していくための予算を確保する。

<成長が予想される分野の研究開発>

① エコグリーンイノベーション

- 次世代省資源・省エネルギー型製品の量産技術の確立に資する、高硬度・低熱膨張電鋳（電気めっき鋳造）技術を活用した高精度・高耐久性金型の製造に関する基盤技術の開発
- 水素吸蔵合金を利用した水素標準化基盤技術の開発
- 金属-酸化物複合体の構造制御による新規高機能性の発現
- 電気化学的計測を用いた金属溶出反応の解析
- ラッカーゼ基質を用いた塗料の開発

- 染色技術を用いたセルロースナノファイバー新規色材の開発
- 無電解めっき法による鉄族系合金薄膜作製に関する基礎的検討
- グリーンエネルギー活用のための次世代型電池分野へ資する複合的湿式プロセスによる機能性酸化物ナノ薄膜作製技術の開発
- LEDの更なる高効率化・省エネルギーを図る新たな高放熱性セラミックス基板材料の開発
- ② バイオライフイノベーション
 - 清酒酵母性能評価システムの開発 ～呑み方提案型酵母の開発～
 - 発酵食品用乳酸菌の保存方法の検討
 - 清酒酵母のアミノ酸代謝能の違いと酒質への影響評価
 - 看護、介護現場で活用可能な機能性繊維の開発による快適空間の創造
- ③ 京都高度伝統文化イノベーション
 - 三次元デジタル等の新規機器を用いた文化財修復研究および商品開発への展開
 - 京ものエントリーモデル開発プロジェクト
 - 先進分析技術を活用した新しい京焼・清水焼用無鉛上絵具の創成及び技術の水平展開
 - 売れるものづくり支援事業
 - インバウンド向け「京の酒を楽しむ和のしつらえ」試作事業

<中小企業等の下支えとなる分野>

- 特定芳香族アミンをはじめとする繊維製品に含まれる物質の法規制への対応
- 和装製品におけるAR技術の応用
- 新規触感センサの製品開発研究
- 新たな製織機構の実現に向けたロボット技術の調査研究
- 深層学習による画像認識に関する調査研究
- レーザー加工機を活用した新しいデザイン表現の研究
- グローバル・ニッチ・トップ企業技術イノベーション
～金属・セラミックス中ガス分析研究の高度化～
- 固体試料直接分析法による溶液分析法の新たな展開
- 型友禅における型紙作製システムの検討
- 熱物性計測技術の高度化

ウ 松本油脂製薬基金事業

松本油脂製薬株式会社の株式から得られる配当金を活用し、産業技術の発展に資する新たな研究開発等を行う。

(3) 知恵産業融合センター事業の推進 11,703千円（平成28年度予算 11,703千円）

京都の伝統技術と先端技術の融合による新たな京都ブランドの創出や新技術・新製品の開発、企業マッチングの促進、販路開拓の強化をより一層推し進めるため、京都市からのマイナスシーリングを反映せず、平成28年度と同額の予算を確保する。

- 製品化に向けた研究開発支援
 - ・試作・製品化に近い研究開発への支援（上記(2)ーアに含まれる。）
 - ・マーケットイン型事業の構築と推進…売れるものづくり支援事業
 - ・インバウンド向け商品の開発…インバウンド向け「京の酒を楽しむ和のしつらえ」試作事業
- 企業マッチングの推進
 - ・産業支援機関等との連携強化

・企業情報の内容充実による企業マッチングの推進

○情報発信

・「知恵創出 “目の輝き”」企業の認定と成果発表会の開催

(4) **伝統産業技術者等の育成の推進** 20,471千円 (平成28年度予算 19,607千円)

伝統産業においては、新たな展開に向けて、基礎研修から応用研修、さらには新商品の企画・立案までを体系立てた計画的な研修を実施する必要があり、必要な予算を確保する。

(5) **受託事業の確保** 114,535千円 (平成28年度予算 105,955千円)

近畿経済産業局や京都市と連携し、さらなる産業の活性化に取り組むため、産技研の得意分野であるCNF関連やバイオ関連の事業を受託する。

(6) **機器整備の推進** 111,441千円 (平成28年度予算 148,955千円)

企業の皆様にご利用いただける機器を整備し、技術的課題を解決するための試験分析や研究開発に必要な高度な機器を充実させるため、JKA等からの補助金を活用し必要な予算を確保する。

(7) **一般管理費の確保** 256,795千円 (平成28年度予算 226,110千円)

業務の効率化を図るため、剰余金を活用し、入金管理や薬品管理などに必要な業務管理システム等を更新する。また、建物の小修繕を適宜行い、施設を適切に維持することで長寿命化を図る。